



るるてる



2026年
2月
No.938

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円(郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-71734

説教「あなたの羊飼いは誰ですか」

日本福音ルーテル岡山教会・松江教会・高松教会・福山教会・三原教会牧師 加納寛之

イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」(ヨハネによる福音書21:17)

〈牧師としての働き〉

「岡山教会、松江教会、高松教会、福山教会、三原教会の牧師の加納寛之です。これが今の私の自己紹介であり、担うことを与えられた働きです。4県5教会、広範囲(山陽、山陰と瀬戸内海を渡って四国と広島)ということで驚かれるところまでがセツトです。そこに建てられた教会の歴史を大切に、信徒と共に歩む恵みをかみしめています。人と出会い、神様と共に歩むことは喜びです。とはいえ、心苦しいですが、毎週それぞれの教会に行つて牧師が礼

〈羊飼いとして〉

牧師という呼称はラテン語の「牧者」を語源として、イエス様が「私は良い羊飼いである」と言われたことに倣い、羊飼いのような指導者、師として歩む者を指します。大前提はイエス様が羊の大牧者であるということ。牧師も信徒も



「善き羊飼ひ」
イタリア、ローマ、プリシラのカタコンベ (3世紀後半)

イエス様に養われ、導かれて歩んでいることを忘れないようにしましょう。牧師はイエス様の働きを託された者として歩みます。礼拝を通して教えること、導くこと、また魂の配慮、癒やしなどもありま

れます。たとえ距離は離れていても牧師、あなたの羊飼いは居るのです。これは幸せなことだと思います。羊飼いの居ない迷う羊になることはない。「あなたの羊飼いは誰ですか」と問われた時、自信をもって自分を牧する者の名前を挙げられるでしょうか。牧師と信徒が信頼関係をもつて歩みたいと願います。

〈あなたも羊飼ひ〉

教会の中の羊飼ひは牧師だけではなく、信徒は羊であると同時に羊飼ひでもあります。教会は信徒の相互牧会があるからこそ豊かに歩めるのです。むしろ、信徒の相互牧会がなければ教会という主の家族の交わりは成り立ちません。牧師が離れた場所にいるからこそ強く実感し、深く感謝し、信頼しています。羊飼ひとは、役員や、司式や、礼拝奉仕をしてくれる人だけでは

ありません。お互いに声をかけあうこと、祈りに覚えること、目に付かない奉仕などを通してあなたも羊飼ひとなつていけるのです。それぞれの賜物、優し



伊藤早奈
⑦「これいいよね」

「それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになりま

最近、頭の中で何度も繰り返される歌があります。そんなに気にしていません。でも、朝起きるときに特に頭の中に響いていました。あれ? 私この歌好きだったのかしらと思わされるくらいでした。その歌に最近久しぶりに出会ったのは「ひ」から始まる歌を探している時でした。「ひ」から始まる歌、なにかご存じですか?」と聞いた私に「この歌知ってるかな、何となく好きで覚えているんだ」と歌い出された。「あーそれ知ってます」と思わずうれしくて叫んでしまいました。



たので、「この歌も賛美歌の一つですよ」とお伝えすると驚かれていました。あーこの言葉、ちよつといいなとか、この曲好きとか、あの人の考え、好きだなとか、いろんな出会いがあります。それがまたまキリスト教だったということも、そうではないこともありま

の学びを3年間しっかりと
としていただき、ここで牧
師としての適性が一定見
込めると考えられる学生
がインターンを行い、そ
で適性が妥当と判断され
て初めて按手を受けるた
めの教師試験を受験す
ることができるといいこ
とになります。

大切なことは、神学校
を卒業するという要件
を満たすことによつて、
そのまま按手となるので
はなく、その後のイン
ターンによつて牧師とな
る適性があると判断さ
れて初めて按手の受験
資格を得ることができ
るという点です。もちろ
んこれまでの神学校も同
様の理解で神学教育を
行ってきました。しかし、
このたびの改革によつ
て、牧師となるために必
要な座学における課題
と、牧師となるべき適性
の部分とを判断する役割
を明確に区分すること
によつて、座学における
責任は神学校に、適性
に関する責任は教会特に
神学教育委員会が担う
という責任分担が行わ
れることとなります。表
現を変えて言えば、学校
法人と宗教法人の責任
を明確に区分する体制
ということになります。

そもそも神学教育は、
教会の行う業であり、教
会が神学校にその働きの

特に座学の部分を委託
してきたわけですから、
今回の改革はいわば、本
来の形を整えるという意
味もあることをよく理解
いただくと幸いです。牧
師を生み出すのは教会の
役割であり、その学生を
育てる責任も教会にある
ということです。

②現場教育の充実

図をご覧ください。分
かるようにインターンは
1年〜3年という記載が
ある通り、学生の成長の
状況によつて柔軟に対応
できるようにしました。
これによつて、学校法人
のカリキュラムとして7
カ月間の宣教研修で一定
の結論を出すのではな
く、少なくとも1年間、
しっかりと現場で個々の
教会に受け入れられ、こ
れを指導する牧師(ある
いはチーム)が責任を持
つてインターン生を育て
るという充実した体制を
取ることができると考
えています。もちろん指
導する牧師やチームの
みで適否を判断するこ
とは偏りを生む可能性
もありますので、最終
的な判断は、神学校教
員も含まれている神学
教育委員会と、指導に
あつた牧師、チームで
行うことによつて公正
さを担保することに
なります。いわば、神
学校、神学教育委員

会、現場教職の三者が
適当と判断して初めて
試験が受けられるとい
うことになります。
この学生の適性の成長
については、インター
ンだけでなく神学校生
として派遣される個々
の教会(主に都心の教
会)においても同様に
対応をいただきたいと
神学教育委員会では
考えています。実習に
来られている学生は、
数年後には牧師として
個々の教会に派遣され
ることが求められてい
ることを踏まえて、対
応できるようにしてい
たいと考えています。
神学校は、大学を卒業
していることが入学の
要件となっており、本
来であれば社会人とし
て人生をスタートす
る年齢であることか
ら、神学教育委員会
が考える適性とは、
いわば社会人としてふ
さわしい振る舞いを期
待するものだというこ
とです。その意味では
、神学校生時代の教会
生活は社会人となる
ための職業訓練の場
であるということです。

③奨学金制度の拡充

これらの体制の変化
を受けて、神学生特別
奨学金規定の改定も行
います。学生が学業や
教会生活にしっかりと
向き合っているため、
神学校生に対しては
月12万円の生活費、
インターン生につい

ては月10万円の生活費
を支給する制度に改定
いたします。これに神
学校生については、神
学校の授業料を加算し
て支給することとし
ました。神学校生1年
次の借り入れについ
ては、牧師になつてか
ら返済をお願いするこ
ととし、2年次以降の
奨学金については15
年牧師として奉職す
れば免除となるとい
う仕組みは変わりま
せん。奨学金の原資は
、個々の教会にお願い
している「神学生奨学
金」となっています。
個々の教会の財政も大
変厳しい中ではありますが
、引き続き協力をお願い
したいと考えています。

④個々の教会へのお願い

一番お願いしたいこと
は、個々の教会で是非
、神学生を生み出して
いただくということです
。神学教育委員会は、
召命には二つあると考
えています。
一つは、ご本人の牧
師になりたいという心
です。これは決して外
すことのできない大切
なことです。教会が大
好きで、宣教のため
には何でもするという
信仰が、個々の教会
で育つことを、心から
願っています。
もう一つは、教会が
与える召命(任命)で
す。個々人の召命が、
教会の中で

皆に認められるもの
になるということです。

よつて召命はさまざま
な試練の中で育てられ
ることも大切なことだ
と神学教育委員会は考
えています。牧師になる
ためには、さまざまな
経験と能力が求められ
ることも事実です。聖
書の専門家であるだけ
でなく、社会人として
、群れのリーダーとし
ても、教会の管理者と
して、知識と見識が幅
広く求められる職務だ
からです。図にありま
す「プレ」の部分がこ
こにあたります。個々
の教会で、個々人の召
命が育つことと、教会
が召すという部分が十
分に育つて、神学校に
送り出して頂くことを
心から願っています。

カンボジア訪問報告

中島和喜
(日本福音ルーテル
大江教会牧師)

2023年の全国教会
総会において、日本福
音ルーテル教会(JELC)
はアジア宣教、中でも
カンボジア宣教を行っ
ていくことが決議され
ました。一から宣教し
たブラジル宣教とは違
い、既に現地の教会に
協力していくことが現
在的だと判断されまし
た。現地にはLCC
(Lutheran Church in
Cambodia)という教会
組織とLHC
(Lutheran Hope Cambodia
Organization)という
地域開発を主にしたNGO
があり、JELCはその二
つと連携し、宣教協力
をしています。今回の
訪問ではLCCの教会3
カ所とLHCの事務所1
カ所を視察してきました。
LCCの教会は現在5
つの教会と2つの伝道
所を持っています。礼拝
以外の日は、英語教室
などを開くことで地域
から多くの子どもが
教会に集い、信徒の数
も年々増えています。
牧師数は、私たちが訪
ねた際には5人でした
が、11月に2人が按手
を受け、現在は7人にな
りました。資金面でも
海外からの支援や農業
経営などによつて安定
しつつあり、私



訪問先の教会メンバーとの集合写真

たちが訪問した際には
建て替えられたばかり
の綺麗な教会も見られ
、活力と希望に満ちて
いるように感じました。
一方、国民の大多数が
仏教徒であるカンボジ
アにあって、キリスト教
は拒絶されていること
も多く、孤立を経験す
ることが大きな課題
であると語っていました。
もう一つの訪問先であ
るLHCは地域開発事業
を興し、農協を通して
農業を中心とした経営
を行っています。農業
指導や財務指導、安定
した収益を得られるよ
うな契約体制を構築し
、地域の農家を支える
働きをしています。特
に女性のリーダーシ
ップ育成に熱心で、こ
れまでカンボジアは男
性中心の社会で、女性
が働くことは好まし
く思われてい

ませんでしたが、LHC
に多くの女性が参加す
る事で、価値観が変わ
るだけでなく、安定し
た収益を得られるよう
になり、家族の生活が
大きく改善したと教
えてくださいました。
二つの組織で共通し
て求めているものは
人材です。特に神学教
育や農業指導など、指
導者の育成という点
は現地で解決できない
問題でもあります。ま
た、孤立するキリスト
者たちの助けもまた、
同じキリスト者からの
祈りと励ましであり、そ
ういう意味でも「人を
欲している」という
状況です。
実際にどのような働
きになるかはこれから
検討を重ねていくと
ころですが、改めて
「人の力の大きさを
感じる訪問となりました。

メーガン・ティ宣教師自己紹介②

本記事は、1月号に掲載した自己紹介の後編です。

5. 日本での宣教活動で挑戦したいことは？

東京教会の皆さんと知り合い、どんなことにワクワクしているのか、どんな夢を持っているのかを聞くのが楽しみです。

皆さんと共にイエスと歩む旅に同行できることを光栄に思い、感謝しています。もし教会が関心を持ってくださるなら、東京で耳にする食や住まいの不安について、どのような

に伝えていけるか一緒に考えてみたいです。また、日本福音ルーテル教会の他の教会の皆さんとも出会い、その信仰に満ちた活動についてもお話を伺いたいです。

6. 日本で訪れてみたい場所はありますか？

北海道に行つてみたいです。私はアメリカのとても雪深い地域の出身なので、そりやスキーをまた体験できたらうれしいです。海にも行きたいです。家族みんな特に海が

7. 好きな聖書の一節は？

私がずっと好きな聖書箇所は、あまり説教で取り上げる機会がない(数年に一度、クリスマスの日

に読まれる)ヨハネによる福音書1章4節です。

8. この聖句を選んだ理由は？

この聖句は、イエスの人々への愛の力強い証し

大好きです。最後に、本物の茶道を二度見てみたいと思っていました。もしおすめの場所があれば、ぜひ教えてください！

です。「言の内に命があつた。命は人間を照らす光であつた。」特に困難な時には、私は光に目を向けるようにしています。それがどこにあるか、どこで私に出会うか。たとえわずかな光でも。それはイエスの変わらぬ存在を思い出させてくれます。

私の中に命があるなら、イエスが共におられます。そしてイエスの命によつて、私の道にはいつも光が差します。どんなこともイエスの光に勝ることはないという真実から、私は勇気と慰めを得ています。暗闇の中でこ

そ、その光はより一層輝きます。これは私たちがしっかりと握っておくべき力強い言葉であり、人生がどこに導かれても、私たちは救い主イエス・キリストの愛と恵みによつて、必ず光を持ち続けることができるといふ、神からの深い約束です。



メーガン・ティ宣教師近影

メコン・ミッション・フォーラム報告

森下真帆

(日本福音ルーテル八幡教会・小倉教会・門司教会直方教会牧師)

2025年11月11日、14日にベトナムのホーチミンで行われたメコン・ミッション・フォーラム(MMF)に森田哲史牧師と共に参加いたしました。

MMFは、メコン川流域の各国(タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス)のルーテル教会および関連諸施設と、それらを支援する世界の教会が一堂に会し、現地の宣教や支援についての情報を共有し、さらなる発展を目指す会議体です。

今回の主な議題は神学教育についてでした。メコン川流域各国では質の高い神学教育が求められており、ことにルター神学や文脈化神学(contextual theology)の分野でその傾向が顕著です。会議の前半では、さらなる神学教育の発展に向けて活発に議論が交わされ、神学教育充実のための特別委員会が設置されたことが今回の大きな成果でした。後半では、この1年の活動報告、予算・決算の承認、審議事項の協議などが行われました。

MMFにあたって、各団体が受けた支援を公開

する中、日本福音ルーテル教会が宣教協力を行つているカンボジアルーテル教会からは、次のような支援がリストアップされていました。神学教育支援(客員講師など)、牧会者及び信徒リーダー育成のためのトレーニング支援、地域の神学教育プログラムに対する奨学金および支援、文脈化神学の研修カリキュラムと教材の開発、開拓伝道および宣教拡大のための資金提供、地域集会の支援、インフラ整備支援(研修センター、礼拝施設集会所など)、ネットワーキングとパートナーシップ形成、祈りと霊的支援。

このような例からもメコン川流域の教会がさらなる成長を目指して、意欲的に宣教に取り組ん

でいることがわかります。しかし、MMFが掲げているのは一方向的な支援ではありません。高まるニーズに応えながら、メコン地域と支援国が互いに学び合うような豊かな宣教協力を目指して、今後も協議が続けられていきます。

会議の間には、各国からの参加者と交流を深めることができました。特にカンボジアからの参加者とは多くの時間を共に過ごし、お互いの教会の状況や牧師になるまでのストーリーなどを、楽しく語り合うことができました。

来年のMMFは、ラオスで開催予定です。メコン地域の宣教についてとりわけカンボジアルーテル教会との宣教協力について引き続きお祈りいただければ幸いです。



石居基夫

(ルーテル学院大学学長・日本ルーテル神学校教授)

私の生まれ育つた武蔵野教会に、1966年、ヨハンナ・ヘンシェルという女性宣教師が着任されました。来日されてからすでに7年ほどたつていたと思います。共にドイツ福音主義教会から派遣されたエバ・マリア・シュツェ先生と共に三鷹にお住まいで、ディアコニッセとして東京下町のいわゆる『ドヤ街』

(簡易宿泊所の集まつている所 ※1)などで子どもセンターや独居の高齢者訪問などに従事してこられた方でした。

武蔵野教会でも、高齢のご家族や妊産婦などを訪問されましたが、時々教会学校でお話をしたり、子どもたちの賛美歌を教えてくださいました。

林提樹先生との交わりから、障がいの重い子どもたちに関わり、あたたかな家庭の交わりが必要と、何人かの子どもを養子とされました。しかし、先生はただご自分のお働きとしてそれをされただけでなく、教会の交わりにその子どもたちを招きました。

島田の子どもたちとの出会いには、教会に集うすべての者にとつて、特別の意味をもたりました。誰もが神様からいただいたいのちを喜び、恵みを分かち合い、困難を支えあうように招かれていることを経験する。その重みとかけがえのなきは、実際に礼拝と交わり、食事など

を共にすればよくわかります。ディアコニアを生きるとはどういうことかを、ヘンシェル先生は身をもって私たちに教えてくださったのです。

ディアコニアは特別な施設や場所、特定の専門職によつてなされることではありません。私たちが愛し、新たに生かしてくださるキリストを通して、私たち自身が互いに仕えるもの、愛するもの、とされていく。当然なのに、たやすくはない。いや、だからこそ具体的な交わりと関わりの中で、共に生きる心と確かな働きが信仰のうちに養われていくのです。

1970年、ヘンシェル

※1 『記者ハンドブック 新聞用字用語集 第14版(2022年発行 最新版で不快表現となつていますが、当時、簡易宿泊所街を指す表現として使用されていたため文脈を重視し使用しました。機関紙うつる広覧集)』



メコン・ミッション・フォーラム出席者との集合写真